

## 新規就農者が経営する鳴子農園（宮城県大崎市）にて

### ジェラート屋が新規オープン

---

株式会社ユナイト（本社：宮城県大崎市 代表取締役社長 山口慎一）が経営する鳴子農園（宮城県大崎市）は10月24日にジェラート屋『鳴子農園』（以下、鳴子農園）を新たにオープンします。

鳴子農園では『農業や地域の活性化』を目指し、自社農園や地元の食材を主に使ったジェラートを提供します。

ジェラートの主な原材料となる牛乳は「鳴子上原牛乳」という、鳴子上原地区6戸の生産者「上原酪農組合」の生産者に限定した生乳を使った牛乳を使用し、地元食材としては地酒の酒粕を使った酒粕ジェラートや地域で栽培した米のジェラートを提供します。

なお、自社農園ではブルーベリーやヘーゼルナッツ等を栽培しているものの、現在は収穫量も限られるため自社生産以外のブルーベリーやヘーゼルナッツ等も使用しますが、ブルーベリーやヘーゼルナッツの収穫が本格化する来年以降は自社生産品をふんだんに使ったジェラートを提供する予定です。

#### ■新規就農の背景

当社の代表である山口は、2001年に野村證券株式会社にて15年、その後はデロイト・トーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社にて7年間と約22年間に渡り金融関連の業務に従事してきました。

デロイト在籍時には、中小企業の事業承継における効率化ツールの開発や関連した事業の推進、関係省庁も巻き込む仕組みの構築に注力してきましたが、農業分野においては次世代への承継がうまく進んでいないという実態に問題意識を持っていました。

そこで、自らが農業を事業として推進し農業に対する知見を培うことで、農業における次世代への承継を模索したいと考え思案していたところ、ネットで売りに出ている土地（宮城県大崎市鳴子温泉）にビジネスの可能性を感じたため、縁もゆかりもない土地ではありましたが、約1万坪の土地を買い、2022年6月から農業に取り組み始めました。

買い求めた約1万坪は20年以上の耕作放棄地であり、雑木林のようになっていた場所を開拓するところからスタートしましたので、開拓はまさに手探りで、初めての草刈りから始まり、重機の免許取得とヤフオクによる重機購入、100mの井戸掘り、事務所作り等と、本

当に一からすべてを一人で、様々な失敗もしながら作ってきました。

そしてその甲斐もあり、2023年11月に就農者として宮城県大崎市から「青年等就農計画」の申請が認定され、今ではブルーベリーやヘーゼルナッツを育てるまでに至っています。



2022年6月開拓当初



100mの井戸掘り



導入した重機



現在

(開拓当初の写真と同じ場所)

## ■ジェラート屋開業の背景

ジェラートを含む所謂アイスクリームはマイナス18度以下で保存することで賞味期限を設定する必要がないという特徴があることから、農業で生産した作物を需要に関係なくジェラート等することで長期保存が出来るということ、また、所謂規格外の生産物もジェラートに出来るということから、農業とは非常に相性が良いと考えジェラート屋の開業を目指しました

また、地域の方々が生産する様々な農産物や日本酒等の製品もジェラートにすることも出来るため、地域の方々の取り組まれている農業や事業の一助にもなると考えています。

## ■会社・店舗概要

### ・代表取締役略歴

山口慎一

2001年 野村証券株式会社入社

2015年 デロイト・トーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社入社

2022年 デロイト・トーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社退社

2022年 株式会社ユナイト創業

### ・会社概要

株式会社ユナイト

本社：宮城県大崎市鳴子温泉和田 5 番

設立：2022 年 11 月

従業員数：6 人（2024 年 10 月 22 日現在、パート含む）

・店舗概要



【オープン時メニュー】

ミルク

ミルク & クッキー

ブルーベリー

ヘーゼルナッツ

チョコヘーゼルナッツ

日本酒 & 酒粕

お米（ひとめぼれ）

紅茶

ごま

ゆず

ラムレーズン

日本一辛い黄金唐辛子

【価格】

シングル：450 円

ダブル：600 円

【場所】

宮城県大崎市鳴子温泉和田 5 番



### 【WEB】

<https://naruko-nouen.com/>

### 【お問い合わせ先】

株式会社ユナイト

担当者：山口慎一

連絡先：090-3537-9803

[shinichi.yamaguchi@naruko-nouen.com](mailto:shinichi.yamaguchi@naruko-nouen.com)

以上